

消防の広場

119
火事・救急・救助

付けていますか
住宅用火災警報器
月に一度は動作点検

灯油・ガソリンの 事故をなくそう



ガソリンや灯油、殺虫剤などは、私たちが日常生活をする上でなくてはならないものです。しかし、これらはすべて「危険物もしくは危険物を含む製品」です。今回は、身近にある危険物の正しい取り扱い方法や保管方法を紹介します。

消防法で危険物を規制

危険物とは、「火が着きやすい」「爆発する」「人体に有害である」などの危険性を持っている物質の

ことをいいます。消防法では、危険物を「火が着きやすく自ら燃焼する物質」「他の可燃物の燃焼を激しくする物質」に分けて規制しています。

燃料補給は必ず火を消して

東日本大震災以降、電気を使わない石油ストーブが見直されています。しかし、不確実な取り扱いや不注意による事故や火災が発生しています。ストーブへの燃料補給は必ず火を消してから行うなど、十分に注意して使用しましょう。

また、殺虫剤やヘアスプレーをストーブ近くで使用すると、引火や爆発の危険があります。ストー

事故事例②

石油ストーブに間違えてガソリンを補給した……

概要

ガソリンを灯油用ポリ容器に入れ、灯油と同じ場所で保管していた。そのため、灯油と間違えてガソリンを石油ストーブに補給してしまい、ストーブが異常な燃焼を起こして火災が発生した。

対策

●ガソリンは金属製の専用容器に保管し、灯油と区別して保管する。
●ガソリンの買いだめはやめ、使うときに購入する。

容器から自然に漏れ出ている

春先や夏場に「油が容器の注油口から溢れ出た」という現象を耳にします。これは、直射日光の影響でガソリンや灯油の温度が上昇し、体積が膨張するために起こるものですが、一歩間違えば重大事故につながり大変危険です。注油口のギリギリまで入れず、直射日光の当たらない涼しい場所で保管することで、このような事故は防ぐことができます。

危険物は専用容器に入れましょう

危険物を保管する容器は、消防法により一定の強度を有する必要があります。容器の材質により容量が規制されています。誤った容器で保管すると重大な事故につながります。

ガソリン・軽油用



灯油用



ガソリンや軽油、灯油用の容器には、それぞれ危険物保安技術協会の試験確認済証や、推奨マークのある容器を使いましょう



こんな容器は



使えません

水用のポリ容器やペットボトルは、容器が溶けて漏れ出す危険があります



▲水用ポリ容器



▲ペットボトル

プの近くでは使用しないでください。子供の手の届くところに置かないことも、事故を未然に防ぐポイントです。

運搬中に事故の可能性も

灯油やガソリンは、ホームセンターやガソリンスタンドで購入できます。その際、ポリ容器にガソリンを入れて運搬したり、容器をしっかりと固定せずに運搬したりするのは大変危険です。実際に、車で持ち帰る際の事故が起きています。

事故事例①

ガソリンを灯油用ポリ容器で運搬したために……

概要

灯油用ポリ容器にガソリンを入れ、軽トラックの荷台に積んで運搬中、ポリ容器が転倒してガソリンが漏れた。荷台下部のエンジン部にかかり、発生したガソリン蒸気が発電装置の火花に引火して火災が発生した。

対策

●危険物の容器には、基準に適合したものを使用する。
●運搬する場合は、容器のふたをしっかりと閉め、転倒しないように確実に固定する。

救急一歩メモ



子どもの急性下痢症「ロタウイルス」

ロタウイルスは、大人もかかりますが、特に子どもの急性下痢症の原因の一つで、1月〜4月頃にかけて流行します。非常に感染力が強く、汚染された水や食物、あるいは汚染されたドアノブや手すりを触った手などから口に入り感染します。

激しい嘔吐、激しい下痢（白色の下痢便）が主な特徴で、約2日の潜伏期間を経て発症し、



市消防本部救急救命士
くさかべのりひと
日下部 宣仁

日頃の「手洗い」が大切！

完治までに3〜8日程度かかります。発熱を伴うこともあり、激しい嘔吐や下痢によって急激に水分を失いますので、特に脱水症状に気をつける必要があります。

予防は手洗い。汚れ落としなどに使う普通の石鹸で洗いましょう。殺菌などを目的とした逆性石鹸やアルコールは、効果がほとんどありません。手洗いの回数を増やし、食事前やトイレの後には特にしっかりと洗いましょう。